

あべともこニュース

膨張し続ける、予算規模。実効性がなければ意味がない。

◆総理所信に対する代表質問

二日と三日の両日、国会では石破総理の所信に対しての各党代表質問が行われました。立憲からは野田代表を先頭に、石川香織、小川淳也衆議院議員が登壇。野田代表は政治と金、とりわけ企業団体献金禁止をどうするのか厳しく問いかけ、石川議員は103万円よりも社会保険料負担の始まる130万円の壁について、小川議員は国家の将来像について、総理の認識を問いました。

今回の総理所信が、外交、とりわけ日中関係の改善と、日米はお互いの国益を尊重すべきという基本姿勢を打ち出した事は評価します。また、冒頭石橋湛山の就任所信を例に引いたことも重要だと思います。

内政に関しては、選択的夫婦別姓を始め、130万円の壁や健康保険証の存続には明確な答弁がなく、社会保障の持続可能性についても言及がありませんでした。

今後立憲民主党がしっかりと国会論戦で指摘していく必要があると思います。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）
当選9回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともここども
クリニック（湘南台）理事長
現在、環境委員会
原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ
公式X (旧Twitter)
@abe_tomoko



あべともこ事務所
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索



◆ガザの即時停戦に向けて
11月28日、超党派「人道外交議員連盟」臨時総会を開催。この度、「読売国際協力賞」受賞式のため帰国されていた、清田明宏UNRWA（国連パレスチナ難民救済事業機関）保健局長に特別講演いただきました。戦禍が収まらないガザの状況と戦争の“終わらせ方”について考える機会に。
また会に先立ち、石破茂首相（議連会長）にも面会し、政府としての強化をお願いしました。いのちをかけていのちを守ることに尽力されている清田さんの想いと共に議論でも引き続いて即時停戦と人道支援の流れを作っていきます。



衆議院第一議員会館多目的ホール

◆残された復興@珠洲

11月27日、石川県珠洲市へ。元旦に発生した能登半島地震に加え、9月の豪雨により、復興はまだに進んでいません。

3月に訪れた時よりは、だいぶ主要道路などが舗装されたように見えていたが、豪雨災害により、崩落しかけている家や土砂大木などがあちこちにあり、甚大な被害の傷跡が残されていました。

珠洲市高屋地区では、農場に続く道が土砂崩れにより通行もできず、その面影は一切ない状態。もちろん畑で野菜を作ることでもできません。近隣の港でも震災の影響で、岸壁は隆起し、土砂は堆積、漁業という生業の継続が難しい状態と悲痛の声を伺いました。

長年、珠洲原発反対の運動をされてこられた塚本さんは、「これでは、人が誰も珠洲に戻ってこない。国が早急に復興を進めるべきだ」と。

そこに暮らす方々の生活を取り戻すため、復興は最優先課題です。



珠洲港にて